

# 八戸駅西地区シンボルロード ニュースレター 第22号

令和7年9月19日 八戸市 都市政策課

## 令和7年度 八戸駅周辺まちづくり

### 全体会議の実施について

八戸駅周辺地区のまちづくりに関係している学識経験者、地権者等関係者、周辺施設関係者、盛り上がり隊等活動に参加している一般市民等が一堂に会して、これからのまちづくりについて一緒に考えることを目的に、下記のとおり会議を実施しました。

記

日 時：令和7年8月23日（土）  
14時00分から16時00分  
場 所：VISIT はちのへ（ユートリー）  
5階視聴覚室  
参加者：一般参加 13名  
アドバイザー 2名  
事務局 6名  
報道機関 3名



(写真) 会議の様子(1)



(写真) 会議の様子(2)

会議当日は、今後のまちづくりの進め方等について、様々な属性の方々から積極的な意見があり、話し合いも盛り上がりました。

会議の様子の詳細については、後日、都市政策課で報告書を取りまとめ、市のホームページ上で公表を予定しています。

## 全体会議の意見交換の内容について

会議では、イベント時に満車が頻発する駐車場問題が話題に上がった。周辺施設と連携したシャトル運行や臨時駐車場の借り上げ、パークアンドライド導入などの短期策についても検討し、駐車場を増やすこと自体を目的化せず公共交通への誘導と必要最小限の台数確保を図る考えについて議論が行われた。

シンボルロードでは、春は桜並木、冬はイルミネーションで「歩きたくなる軸」をつくる構想が浮上。毛虫・落葉など管理負担への懸念を踏まえ、樹種の選定や維持計画、責任主体を明記した協定づくり、これらを実施できる組織づくりの必要性が認識された。

滞在環境の改善として、日陰・ベンチ・時計の設置、飲食店マップや「横丁」のような小拠点整備といったアイデアも提案された。

高校生の企画、JRの「駅まつり」、人気アニメ「メダリスト」との連携案など「次の来訪理由」づくりについても話題に上がり、イベントなどの実施に向けては、ボランティア任せの運営には限界があるとして、まちづくり準備協議会を軸に役割分担と合意形成を進める必要性が認識された。

市は盛り上がり隊定例会などを通じ、会議で上がった話題について、議論を継続していく方針を示した。

このニュースレターは、八戸駅西地区、特にシンボルロード周辺の賑わい創出に向け、不定期に発行しています。

お気づきの点やお問い合わせなどありましたら、下記、事務局へ連絡をください。

### 【発行（事務局）】

八戸市都市整備部都市政策課

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1

電話 0178-43-9128 FAX 0178-41-2302

E-mail

toshisei@city.hachinohe.aomori.jp